



阿蘇新町活性化福の会の皆さん

第 5 回

田空わがまち自慢

ASO田園空間博物館では地域とタイアップした散策イベントを随時開催しています。
地域活動を活発に行っている団体の取り組みを紹介する「田空わがまち自慢」、第5回目は、内牧新町地区を中心に活動している「阿蘇新町活性化福の会」の皆さんからお話を伺いました。

福の神大黒天で
地域を盛り上げよう

他の地域もそうだと思いますが、近年、新町地区も高齢化が課題として住民たちの間で考えられるようになりました。私たち若い頃、新町は子どもたちの姿で溢れていました。しかし、今では子どもの数は減り、逆に高齢者が増えているのが現状です。

また、もう一つ地域の課題と感じていたのは、新町をはじめとする内牧地域の賑わいが以前に比べると薄れているということです。

「地域の高齢化と活性化を何とかせんといかん。」そんな想いが強くなり、「いかに新町を活性化していくのか？」と考えたとき、その一つの原動力として考えられたのが福の神大黒天でした。

福の神大黒天は平成7年に偶然発掘された神像で、地域住民の手で新町区内の現在地に鎮座してからは「宝くじが当たる」「病気がよくなる」と評判になっている神様です。



1

まずはこの福の神大黒天を活かした活動に取り組んでいこうと、それに賛同した新町在住の有志8名が集い、平成22年1月1日に「阿蘇新町活性化福の会」を結成、現在も同メンバーで活動が続いています。

福の会結成後、年に4回程度ASO田園空間博物館などと協力した散策イベントで地域案内人となって新町の案内を行っています。

現在案内しているのは1時間コースと2時間コースの2コース。いずれも新町の良さが十分伝わるよう立ち寄りスポットには福の神



2

- 1 ことしもASO田園空間博物館総合案内所にススキが届きました
- 2 新町地区案内のようす

大黒天や新町薬師堂、塔の木古墳群などの名所旧跡のほか、区内の商店に協力してもらい、お店に立ち寄って食べ歩きなどもできるようにしています。

そのほか、観光客の方々に、より一層阿蘇の良さを感じていただけるよう、毎年ススキを栽培し、内牧地

区の商店や旅館、ASO田園空間博物館総合案内所などに無償で配布しています。ことは20鉢ほど栽培しました。

都市部の方々にとってススキの穂を近くで見ることができるのは珍しいようで、記念写真を撮る人も多く大変喜ばれています。



3



4

自立した組織にするために

また、ボランティア活動として新町区内の清掃活動なども進んで行っています。いずれも会の結成当初から継続して取り組んでいる活動です。

案 内活動のほかに現在力を入れて行っているのは、福の神大黒天のグッズ販売です。この活動も会を結成した平成22年夏から取り組んでいます。

はじめは福の神大黒天の横にテントを張って販売していました。メンバー共同でプレハブ小屋を購入し

てからは、花原川沿いの現在の場所に移して販売しています。

現在販売しているグッズの種類は11種。ストラップとキーホルダーは専門業者に発注し、製作したものです。それが、それ以外の絵馬や御幣、福にゃんこ（猫の置物）などは全てメンバーが中心となり手作りし、ここにかない品物を提供しています。

中には88歳の高齢者が手掛けたグッズもあります。そして、このグッズの売り上げを活動資金の一部に充てています。会員からも出資金を集めています。それだけでは活動が滞ってしまう。かといって、毎年支援してもらえるか分からない補助金に頼るのも問題です。ならば収益事業も手掛ける必要があると判断し、始めた活動です。

このほかに、里芋などの

- 3 「宝くじが当たる」と評判の福の神大黒天
- 4 福の神大黒天グッズ販売

農作物や盆花の種を販売することでも収入を得ています。

抱えている課題

現 在、メンバーの平均年齢は70歳弱。今後の高齢化が心配です。ぜひ若い人にも福の会に入会してもらい、若い力で新鮮なアイデアを出してもらい、もっと魅力ある会にしていければ良いと思っています。

また、資金的な課題も抱えています。現在、グッズ販売の店番などは完全な無償ボランティアで行っています。しかし、少しでも日常が出るようになると活動にも張合いが出てくるので、資金的な面も工夫しながら活動を展開していかなくてはなりません。

新町の賑わいと高齢者の生きがいづくりを求めて

将 来的には福の会の活動が新町をはじめとする内牧の活性化につながる

グッズとして販売されている手作りの『福にゃんこ』



れば良いと考えています。案内活動で今後も新町や内牧地域の良さを多くの人に伝えて、グッズ販売で高齢者の生きがいづくりにつなげていきたいと思っています。高齢者がグッズを作って収入源にすることで、少しでも生きがいを持ってもらいたい。実はそれがグッズ販売の大きな目的なのです。

また、高菜オリンピックや減反田を利用した薬草の試験栽培などの新事業も検討中です。そうした活動を続けることで、新町をはじめとする内牧地域、そして阿蘇市がもっと元気になればと願っています。



予防注射

狂犬病予防注射と犬の登録を忘れずに！

11月2日・3日に巡回

市民課 生活衛生係 ☎ 22-3135 ☎ 55-3135

狂犬病予防注射実施日程表

《11月2日(土)》

午前	9:00～9:30	波野支所駐車場
	9:40～10:00	すずらん公園休憩所駐車場
	10:30～11:00	坂梨公民館駐車場
	11:20～11:50	就業改善センター駐車場
午後	13:20～13:50	市役所本庁駐車場
	14:00～14:20	J A 阿蘇旧古城支所駐車場
	14:30～14:50	中通公民館駐車場
	15:00～15:20	役犬原コミュニティセンター駐車場

《11月3日(日)》

午前	9:00～10:00	内牧支所駐車場
	10:20～10:50	J A 阿蘇旧尾ヶ石支所駐車場
	11:10～11:50	未来館駐車場
午後	13:30～14:00	乙姫公民館駐車場
	14:20～14:50	阿蘇小学校体育館前駐車場
	15:10～15:30	J A 阿蘇水田農業推進協議会前駐車場 (山田)

●料金 (1頭あたり)

登録料	3,000円
注射代	2,500円
注射済票代	500円

未登録の犬の注射 → 登録料+注射代+済票代= 6,000円

登録済の犬の注射 → 注射代+済票代= 3,000円

※近所以外の巡回場所でも予防注射を受けることができます。

※本年度の注射巡回は今回で最後となります。巡回日に注射できない場合は、獣医師に直接依頼し必ず注射を受けてください。注射後に、市役所で注射代及び済票代を納めていただく手続きになります。

狂 犬病予防注射の巡回を行います。犬病は、ほぼすべての哺乳類に感染する病気で、国内での発症及び蔓延を防止するため法律で毎年の注射が義務付けられています。

今年度まだ注射を受けていない生後91日以上の子犬は、必ず受けるようにお願いします。また、犬が未登録の場合は注射会場で登録できますので、この機会をご利用ください。

*春の注射巡回などで今年すでに接種している場合は、今回の注射対象になりません。
*犬の死亡、譲渡などにより登録犬が居なくなっている場合は、市民課までご連絡ください。

飼い犬の放し飼いは、犬の苦手な人や子どもにとって大変な恐怖です。思わぬ事故につながる可能性があります。放し飼いをせず、犬が逃げ出したりしないよう注意してください。犬の散歩中のフンは、飼い主のマナーとして必ず家に持ち帰り後始末をしましょう。



紹介

地域の声を市政に！第5期阿蘇市地域審議会を紹介します

財政課 企画係 ☎ 22-3204 ☎ 22-3204



地 域審議会は、町村合併によって住民の意見が市の施策に反映しにくくならないように、旧町村の区域にかか
る事務等に関し、市長の諮問に応じて審議し、ま
たは必要と認める事項に
ついて、市長に意見を述
べる付属機関として合併
当初から設置されています。
阿蘇市では旧町村毎
(一の宮・阿蘇・波野)
に審議会が設置されてお
り、各種団体の代表者な
ど11人の委員で構成され
ています。

●各地区地域審議会委員

(順不同、敬称略)

	一の宮地区	阿蘇地区	波野地区
会 長	志賀 昭男 (坂 梨)	大倉 勝弘 (小 里)	市原 正次 (笹 倉)
副会長	山部謙一郎 (宮 地)	大塚 未人 (黒 川)	佐藤 義勝 (中 江)
委 員	岩下 經之 (中 通)	本田 二男 (乙 姫)	阿南 米夫 (滝 水)
	井上 栄一 (中 通)	杉本 素一 (内 牧)	古澤 新一 (滝 水)
	井手登志成 (中 通)	稲吉 淳一 (内 牧)	大塚 弘子 (滝 水)
	神保 京子 (宮 地)	寺原 榮一 (黒 川)	藤井貴美夫 (大 道)
	山内 裕樹 (坂 梨)	大和ふゆ子 (今 町)	後藤 榮子 (横 堀)
	武田 賢次 (手 野)	工藤 文章 (内 牧)	碓井 裕幸 (小 園)
	梅野 孝徳 (中 通)	高宮 隆博 (湯 浦)	檜木野政一 (仁田水)
	大空 静子 (坂 梨)	阿南眞佐子 (黒 川)	天艸江里子 (赤仁田)
	後藤 和行 (宮 地)	伊藤 定照 (乙 姫)	岩下 直喜 (中 道)

任期：平成 25 年 8 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

ホスピス緩和ケア病棟 桃花水 開設5周年記念 市民公開講座

「人が生き、死ぬこと」

講師：公益財団法人日本対がん協会 会長 垣添 忠生 先生
国立がんセンター名誉総長

日時：平成 25 年 10 月 26 日 (土)
午後 2 時から 4 時まで

場所：ホテル角萬 一階 西の丸
定員：先着 300 名

※興味のある方はどなたでも参加できますが
事前のお申し込みをおすすめ致します。

参加費：無料

※お申し込みは阿蘇温泉病院 企画広報課 TEL:0967-32-0881